

インターハイのバドミントン競技で3冠を達成 —目指すはオリンピックで金メダル—



ひろき
緑川大輝さん(狭山市在住)
埼玉栄高等学校3年生

Profile

2000年生まれ。昨年のインターハイでは、シングルス、ダブルス、団体で優勝し、3冠を達成。日本代表選手B代表

この道に入ったきっかけは

母がバドミントンの国体選手でした。小学校1年生のとき、姉が始めるのと同時に地元のクラブに入ったのが、バドミントンとの出会いです。

あなたにとっての狭山市は

生まれ育ち、友達と遊んだ思い出がたくさんあります。家の周りは緑も多く、練習で疲れた僕を癒やしてくれる、大好きな場所です。

夢と今年の抱負

4月からは大学に通います。今年は全日本学生バドミントン選手権大会(インカレ)で優勝するのが目標です。1年生でタイトルを取って競技生活に弾みを付けたいです。そして、来年の東京と2024年のパリでオリンピックに出場し、メダルを取って家族に掛けてあげるのが僕の夢です。

写真提供/バドミントン・マガジン

2018年U-20日本代表に招集されたなでしこ —なでしこリーグで頂点へ—



木崎あおいさん(狭山市出身)
浦和レッズレディース

Profile

1998年生まれ。浦和レッズレディースに所属し、昨年はU-20日本代表に召集

この道に入ったきっかけは

兄がしていることを何でもまねしたがる子どもでした。父の影響でサッカーを始めた兄と一緒に練習をしたのがきっかけです。当時は男子のチームに混ざってプレーしていました。

あなたにとっての狭山市は

家族が大好きなのでよく帰って来ます。友達と食事へ行ったり、実家でのんびり過ごしたりして、日頃の疲れを癒やしています。

夢と今年の抱負

2年後のオリンピックに、代表選手として出場。そのためには、自分自身の技術の更なる向上、そしてチームがなでしこリーグで優勝することを目標に掲げています。ここまで続けて来られたのも応援してくださる方がいるからです。全力で楽しみながらサッカーに向き合い、日々進化していきます。

※木崎あおいさんは、1月7日付で「ちふれASエルフェン埼玉」に移籍しました

航空救難団唯一の現役女性パイロット —さらなる飛躍を目指して—



Profile

1980年生まれ。23歳でパイロットに。東日本大震災や平成30年7月豪雨でも現地へ赴く

阿部美沙さん(狭山市在勤)
航空救難団入間ヘリコプター空輸隊

この道に入ったきっかけは

消防士だった父の影響を受け、子どもの頃から人命救助に関わる仕事がしたいと思っていました。中学生のときに地元で災害が発生し、救難ヘリで救助をしている自衛隊員を見て、この仕事に就きました。

あなたにとっての狭山市は

以前夫が住んでいた、親しみの持てる場所です。また、航空救難団として、日本の災害救助の任務を担うことができる場所です。

夢と今年の抱負

私は現役のパイロットではありませんが、現在は主に後進の指導を行っています。一人でも多く一人前のパイロットを育てて、空に送り出すことが使命です。私自身も資格の取得など、仕事・プライベートを問わずいろいろなことに挑戦する年にしたいと思います。

農林水産大臣賞受賞の15代目園主 —自分にしか作れないお茶にこだわる—



Profile

1980年生まれ。日本茶インストラクターを2006年に取得。現在、埼玉県茶業青年団の団長を務めている

奥富雅浩さん(狭山市在住)
狭山茶製造元 奥富園園主

この道に入ったきっかけは

家が代々続く茶農家で、茶畑で遊びながら父の仕事を見て育ちました。大学を卒業後、静岡県の茶問屋で2年間修業し、狭山市に戻ってお茶を作っています。

あなたにとっての狭山市は

土にも気候にも恵まれ、高品質でおいしいお茶を作ることができます。多くの人に狭山茶の魅力が伝えられる、すてきな場所です。

夢と今年の抱負

今、世界的な緑茶ブームといわれ、健康効果や文化性が国内外で高い評価を受けています。とことんこだわって、飲んだ人に「おいしい」と言ってもらえるお茶づくりを常に意識しています。そしていつかは父と私と息子の3代で、おいしいお茶を一緒に作る、それが私の夢です。